

## 1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

## 【評価実施概要】

|       |                                     |
|-------|-------------------------------------|
| 事業所番号 | 4570102956                          |
| 法人名   | (有) サカイコーポレーション                     |
| 事業所名  | グループホーム 楓                           |
| 所在地   | 宮崎市郡司分甲1570番地1<br>(電話) 0985-56-2277 |
| 評価機関名 | 宮崎県医師会サービス評価事務局                     |
| 所在地   | 宮崎県宮崎市和知川原1丁目101                    |
| 訪問調査日 | 平成 21年 5 月 29 日                     |

## 【情報提供票より】(21年 5月 1日事業所記入)

## (1) 組織概要

|       |                  |        |                          |
|-------|------------------|--------|--------------------------|
| 開設年月日 | 平成 17 年 10 月 1 日 |        |                          |
| ユニット数 | 1 ユニット           | 利用定員数計 | 9 人                      |
| 職員数   | 10 人             | 常勤     | 7 人, 非常勤 3 人, 常勤換算 7.2 人 |

## (2) 建物概要

|      |                 |
|------|-----------------|
| 建物構造 | 木 造り            |
|      | 1階建ての 階 ~ 1 階部分 |

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |                  |                                       |               |
|---------------------|------------------|---------------------------------------|---------------|
| 家賃(平均月額)            | 35,000 円         | その他の経費(月額)                            | 水光熱費 10,500 円 |
| 敷 金                 | 有( 円)            | <input checked="" type="checkbox"/> 無 |               |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有( 円)            | 有りの場合<br>償却の有無                        | 有/無           |
| 食材料費                | 朝食               | 円                                     | 昼食 円          |
|                     | 夕食               | 円                                     | おやつ 円         |
|                     | または1日当たり 1,000 円 |                                       |               |

## (4) 利用者の概要( 5月 1日現在)

|       |         |      |      |    |       |
|-------|---------|------|------|----|-------|
| 利用者人数 | 8 名     | 男性   | 3 名  | 女性 | 5 名   |
| 要介護1  | 2 名     | 要介護2 | 2 名  |    |       |
| 要介護3  | 3 名     | 要介護4 | 1 名  |    |       |
| 要介護5  | 0 名     | 要支援2 | 0 名  |    |       |
| 年齢    | 平均 92 歳 | 最低   | 79 歳 | 最高 | 101 歳 |

## (5) 協力医療機関

|         |                                       |
|---------|---------------------------------------|
| 協力医療機関名 | 医療法人善仁会 南部病院 野崎病院 日高医院 山内クリニック クリニック草 |
|---------|---------------------------------------|

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは田畑の広がる郊外にあり、一年を通して農産物の生育を眺めたり、地域ぐるみで「ほたるの里」として整備しているせせらぎ水路脇にあって自然に恵まれ、小中学生の通学路にもなっており環境に恵まれたところにある。庭には家族会の方々と野菜が植えられた畑があり、全員で収穫を楽しんでいる。「のんびり、ゆったり」を合言葉に、歌、習字、散歩、食事などを楽しく、ゆっくりと生活されている。施設長は、いろいろなホームを訪問する機会をつくり、また職員と意見を交換して、地域に密着したホームづくりを目指して取り組んでいる。

## 【重点項目への取り組み状況】

|       |  |
|-------|--|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)   |
|       | 運営推進会議には、地域包括支援センターの職員の参加を得ている。警察署、消防署の出席はまだ得られていないが、機会あるごとに状況を報告し、協力や助言を得ている。介護計画については、担当の職員が1か月の状況をまとめ、毎月の担当者会議で経過報告をして、職員全員で見直している。 |
| 重点項目② | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)  |
|       | 全職員で自己評価について取り組み、項目を絞ると外部評価の取組が弱くなってしまうという意味で、あえて全項目について今後の取組の課題をあげている。アウトカム項目についても全職員の意見を出して、平均を取って、事業所の評価としている。                      |
| 重点項目③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)   |
|       | 地区民生委員、地域包括支援センター職員、有識者、家族会代表をメンバーに、2か月に1回定期的に実施している。運営推進会議では、取り組み状況の報告をしたり、行事の参加のお手伝いをお願いしたりしている。引き続き、市の担当者、消防署、警察官などの参加について働きかけてほしい。 |
| 重点項目④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)  |
|       | 家族の訪問時に、職員の方から何か意見や要望、苦情などないか、尋ねるようにしている。家族会があり、代表者が運営推進会議に出席し、現状の把握をしていただいている。また、家族会を中心にホームの畑を手入れなどホームの運営に協力をいただいている。                 |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)   |
|       | 自治会には、加入していないが、夏祭りの参加やせせらぎ水路の「蛍の里」環境整備の取り組みなど地域と協力して活動している。通学路になっておりあいさつを交わしたり、地域の人々がホームの敷地を抜け道に利用したり、地元の店の配達協力があったりしている。              |

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

| 外部                    | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                         |
|-----------------------|----|---|---|------|--|
| <b>I. 理念に基づく運営</b>    |    |   |   |      |  |
| 1. 理念と共有              |    |   |   |      |  |
| 1                     | 1  | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている                  | 「人格を尊重し、その人らしく、笑顔のある、安心・安全で、地域の生活に馴染んだ家庭的な生活ができること」という内容の6項目の理念をつくりあげている。   |      |  |
| 2                     | 2  | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                                     | 理念をホームの要所に掲示し、介護に迷ったり、立ち止まったりした時に「理念」を振り返り、「のんびり、ゆったり」を合言葉にして、日々取り組んでいる。  |      |  |
| 2. 地域との支えあい           |    |   |   |      |  |
| 3                     | 5  | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている               | 夏祭りや「蛍の里」づくり環境整備活動など地域活動に参加している。買い物は地域の店を利用し、顔なじみになっており配達の協力があつたりしている。  |      |  |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |    |   |   |      |  |
| 4                     | 7  | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                 | 全職員で、自己評価に取り組み、全体会で意見交換をしている。課題項目を絞ると外部評価の取り組みが弱くなってしまふという意味で、あえて全項目に組み込みの課題を持つようにしている。外部評価を全体のサービスの見直しの機会として取り組んでいる。 |      |  |
| 5                     | 8  | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | メンバーは家族会会長、地区民生委員、有識者、地域包括支援センター職員で、2か月に1回定期的に開催している。   |      | 引き続き、市役所担当者、消防署、警察官等の出席を働きかけて、現場、現状を知ってもらふ機会作りを働きかけてほしい。 |

| 外部              | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|----|--|---|------|----------------------------------|
| 6               | 9  | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                               | 市の担当課には機会あるごとに出向き、情報交換や相談に乗ってもらい、サービスの向上に活かしている。  |      |                                  |
| 4. 理念を実践するための体制 |    |  |   |      |                                  |
| 7               | 14 | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている                              | 定期的に「かえで通信」を発行し、生活の様子を報告している。利用者の金銭管理の会計報告、職員の異動についても報告している。健康状態については、その都度電話連絡して、説明報告をしている。 |      |                                  |
| 8               | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 職員の方から、要望や意見、苦情がないか、尋ねるようにして、話しやすいようにしている。家族会があり、家族同士の交流の機会をつくり、また家族会の代表が、運営推進会議にも出席している。   |      |                                  |
| 9               | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 異動は、急には行わず新規職員と現行職員と当分勤務を合わせたシフトをとり、利用者の心理的不安を少なくする配慮をしている。                                 |      |                                  |
| 5. 人材の育成と支援     |    |  |   |      |                                  |
| 10              | 19 | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | 前年の研修の情報をもとに計画を立て、積極的に参加できる体制になっている。全体会では、復命書を作成するとともに発表を行い全職員で情報の共有を図っている。                 |      |                                  |
| 11              | 20 | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている    | グループホーム連絡協議会に参加して、交流を図りながら、情報交換してサービスの向上に努力している。  |      |                                  |

| 外部                                 | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|---|------|----------------------------------|
| <b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>        |    |  |   |      |                                  |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応          |    |  |   |      |                                  |
| 12                                 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 事前に利用者と家族に訪問していただきホームの雰囲気を知ってもらうようになっている。また現在の入居者も新しく入居される人と馴染めるよう席の配置など配慮している。                           |      |                                  |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援          |    |  |   |      |                                  |
| 13                                 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                       | 料理の好きな利用者から料理を教えていただいたり、園芸の好きな利用者と一緒に玄関周りの花の手入れをしたりしている。ホームの畑の収穫時は、職員も利用者と一緒に喜びを味わっている。                   |      |                                  |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |    |  |   |      |                                  |
| 1. 一人ひとりの把握                        |    |  |   |      |                                  |
| 14                                 | 33 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 家族との面談を増やし、得た情報を全体会などで検討し、情報の共有を図っている。また、介護記録や申し送り簿などを活用して、日々の生活の様子から、本人本位に意向や希望を把握するようにしている。             |      |                                  |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し     |    |  |   |      |                                  |
| 15                                 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している        | 担当者は、家族と利用者の意見をよく聞き、ケアプラン担当者会議を開いて、安心・安全に留意しながら介護計画を作成している。   |      |                                  |
| 16                                 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している    | 担当の職員は1か月の状況をまとめ、毎月、全体会で報告検討して、介護計画の確認、見直しをしている。状況の変化のある時は、その都度、スタッフや家族、主治医の意見を聞き、方針の変更をして新たな介護計画を作成している。 |      |                                  |

| 外部                                 | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|---|---|------|----------------------------------|
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |    |   |   |      |                                  |
| 17                                 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                           | 医療連携体制をとっている。また、状況に応じて、受診の支援など行っている。  |      |                                  |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |    |   |   |      |                                  |
| 18                                 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している              | かかりつけ医受診の際は、ホームでの状況をまとめて、FAXや電話で報告し、また、受診後は、薬の情報や指導・助言を受けるようにしている。往診の体制もあり、相談しやすく密に情報交換をしている。 |      |                                  |
| 19                                 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 利用開始時、説明して重度化した時の方針を決め、同意書をいただいているが、状態の変化に応じて話し合いの機会をもつようにしている。                               |      |                                  |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>   |    |   |   |      |                                  |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>             |    |   |   |      |                                  |
| <b>(1)一人ひとりの尊重</b>                 |    |   |   |      |                                  |
| 20                                 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | 利用者の記録等は、事務所に保管されている。職員は、誇りやプライバシーに配慮した穏やかな言葉かけや対応ができています。                                    |      |                                  |
| 21                                 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している            | 無理強いせず、その時々々の利用者のペースや意向に添ってサービスをしている。趣味や運動、散歩などその人に合わせて支援している。                                |      |                                  |

| 外部                                   | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                       |
|--------------------------------------|----|---|---|------|--|
| <b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b> |    |   |   |      |  |
| 22                                   | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 職員も同じ食事を一緒にして、調理、後片付けも能力に応じて一緒にしている。ホームの畑で取れた旬の食材を取り入れ、食事が楽しいものになっているようにしている。                           |      |  |
| 23                                   | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 週3回を基本にしているが、希望にあわせ、毎日の入浴も支援している。   |      |  |
| <b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b> |    |   |   |      |  |
| 24                                   | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 調理の得意な利用者には味付けをお願いしたり、園芸の好きな利用者と一緒に花植えをしたり、ホームの菜園の収穫をしたり、また音楽、習字、絵描きなど行事ボランティアなど受け入れ、趣味、娯楽の幅を広げようとしている。 |      |  |
| 25                                   | 61 | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                   | 利用者の健康状態に応じて、ホームの菜園を眺めたり、収穫を手伝ったり、散歩など外出の支援をしている。また同法人のグループホームへドライブを兼ねて訪問し合い、交流している。                    |      |  |
| <b>(4) 安心と安全を支える支援</b>               |    |   |   |      |  |
| 26                                   | 66 | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | 鍵はかけていないが、センサーをつけ、徘徊事故に対応している。  | ○    | センサーの音量を下げたり、時間によっては止めるなど工夫し、鍵をかけないケアの取り組みをさらにすすめてほしい。 |
| 27                                   | 71 | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている      | 防災管理者を配置し、年2回防災訓練、避難訓練など実施している。その際、警察署、消防署などの実地指導を受ける機会もある。また地元消防団とも連絡を取れる体制がある。                        |      |  |

| 外部                        | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|---|---|------|-----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |    |   |   |      |                                   |
| 28                        | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 利用者一人ひとりの食べる量、水分量を記録し、必要な量がとれるよう支援している。細かく切ったり柔らかく煮たりして、調理法を工夫し、食前の口腔体操、毎食後の口腔ケアなど行い、できるだけ自力で食事が取れるように支援している。時々栄養士に献立をチェックしてもらっている。 |      |                                   |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり   |    |   |   |      |                                   |
| (1)居心地のよい環境づくり            |    |   |   |      |                                   |
| 29                        | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | リビングは、大きなソファが置かれ、利用者一人ひとりの居場所があり、ゆったりとして午睡を楽しむ雰囲気になっている。利用者の作品や季節に合わせ上品に飾りつけがしてある。風通しも良く、不快な臭いもなく、居心地よく過ごせるようになっている。                |      |                                   |
| 30                        | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                    | 利用開始時から、利用者、家族とともに居室空間づくりに取り組んでいる。使い慣れた家具、若い頃の写真や家族の写真、誕生会の寄せ書きなどがあり、家庭的な雰囲気になっている。   |      |                                   |